

天草
文化財
探訪

図文化課 ☎ 32-6784

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。天草市には206もの指定・登録文化財があります。今回は、古文書をご紹介します！



寛永14年(1637年)10月25日、天草(益田)四郎時貞を総大将とした一揆軍と幕府軍の約140日間にわたる戦いの火ぶたが切って落とされました。

四郎乱物語は、福連木村庄屋の尾上家に伝わっていた、7冊からなる軍記物。読み手を惹きつけるような巧みな表現が使われており、歴史記録だけでなく文学作品としても評価が高い資料です。

これは幕府側がキリシタン弾圧の正当性を分かりやすく伝えようと書いたもので、キリスト教の伝来から島原・天草一揆の終わりまでが描かれています。その中でも特に一揆軍の天草での動きにスポットが当てられていることが特徴で、躍動感あるリアルな人間描写や天草四郎の人間味ある姿など、一揆が実際に起こったことであると感じられます。

天草キリシタン館に常設展示していますので、ぜひご覧ください。読みやすくした本を天草キリシタン館、天草コレジヨ館、天草ロザリオ館、本渡歴史民俗資料館で販売中(2,000円)です。



荒平棚田 (倉岳町)

天草 見どころ図鑑

倉岳町浦地区の山間部に斜面を利用して作られた棚田が広がっています。現在の棚田は、田植えなどの作業効率を改善するために平成10年から3年かけて区画整理されたものですが、昔ながらの風景は健在。春の田植えや夏の刈り入れなど、四季の棚田風景が楽しめます。

★見どころポイント

秋には10万本の彼岸花が咲き誇ります。

令和3年8月の

大雨
被害状況

8月11日から19日にかけて降り続いた大雨。全国各地で河川の氾濫や建物への浸水、犠牲者の発生といった被害が起きました。

市内でも、床上・床下浸水の被害や本渡町広瀬大矢崎地区の地すべりによる「緊急安全確保」の発令、亀川ダムの緊急放流など、これまでに経験したことがない状況となりました。

今回の大雨により、被災された皆さんには心よりお見舞い申し上げます。災害はいつでも起こるかわかりません。身を守るために日頃からの備えをお願いします。 ☎ 防災危機管理課 ☎ 24-8817



- 【写真の説明】
- 1 本渡町広瀬大矢崎地区の地すべり
 - 2 市道の崩壊 (天草町)
 - 3 家屋の全壊 (五和町)
 - 4 河川の護岸崩壊 (本町)

■被災状況 (8月30日現在)

全壊	1件
床上浸水(住家)	5件
床下浸水(住家)	32件
道路被害	国道道 40件 市道 49件
河川被害	県管理 30件 市管理 76件
その他 (大規模地すべり)	1件

■避難所

避難所開設	68カ所
避難者	82世帯 149人

■総雨量

(8月10日午前3時~19日午後3時)

本渡	944mm
牛深	457mm